

事業名：かつらぎ町部活動地域連携移行普及事業 煌カップ（バレーボール）

【目的】

近隣中学校の生徒を含む小・中学生を対象にしたクラブチーム（バレーボールブルッフラ）は、令和5年度、3回の大会を開催した。令和6年度は、毎月1回の開催予定で、バレーボール競技の強化・地域との連携、選手、顧問、協会関係者の交流を促し、挨拶や礼儀などの人間力の向上を目的に、大会開催を計画した。安全で安心して大会開催をする為、運動を行う環境を整える為に当クラブが全面的に協力をする。

【令和6年度成果目標】和歌山県で先行し地域移行モデルの確立

大会（練習試合）を月1回の開催、バレーボール競技の強化・地域との連携、選手、顧問、協会関係者の交流を促し、挨拶や礼儀などの人間力の向上を目的に、安全で安心して大会開催をする



学校部活動（放課後活動）の状況・課題

部活動指導員（実証検証事業）が中学校の部活動時間に専門技術を提供し、学校職員（兼職兼業）と共に教育的配慮のもと、活動を行っている。運動の大切さ、技術の向上により、意欲的にクラブ活動に参加し良い人間形成が確立された。

課題では、経済面（謝金など）でも問題があり受益者負担が想定される。指導者確保の面からも持続可能な体制の整備をする必要がある。開催場所への送迎についても課題である。

（安全に実施するための配慮事項）

各団体指導者・引率者を各会場に配置し安全体制を構築
競技規則に従い、大会運営、協会職員、参加生徒は全員
スポーツ保険に加入

